

連載

株式評論家 山本伸一の

兜町スタンダード



先行き不透明感を取り除くには…

前回取り上げた「5月売り」を指すアノマリ『Sell In May and go away』とともに調整色を深めている株式相場。そして6月相場の重要イベント「メジャーSQ」も接近してきた。

前回のメジャーSQでもある3月2日午後12時に東日本大震災が発生。大幅調整を余儀なくされたのも記憶に新しいところで、相場の先行きを見極めるうえで、SQ日がターニングポイントとなりやすい。先行き不透明感を払拭するSQ結果に期待したいところだ。

まずは、メジャーSQの内容と結果を見極めてから全体観を構築したいが、個別では本決算時に会社予想「非開示」としていた企業が今期予想発表とともに見直されるケースも目立ってきており、来週の会社四季報の発売を含め、今期予想開示が業績不安後退につながるケースも増えてきている。

全体観が強気に傾き難いこの局面では、先行き不透明感が後退した個別の投資対象をジャブを繰り返しながら、着実かつ小刻みに狙っていききたいところ。そこで弊社では、資金効率を意識した投資戦略、低売買単価銘柄を対象とした「厳選5銘柄付き緊急市況レポート」を発売することにした。厳選銘柄やレポートに興味を持たれた方は、弊社に直接問い合わせほしい。